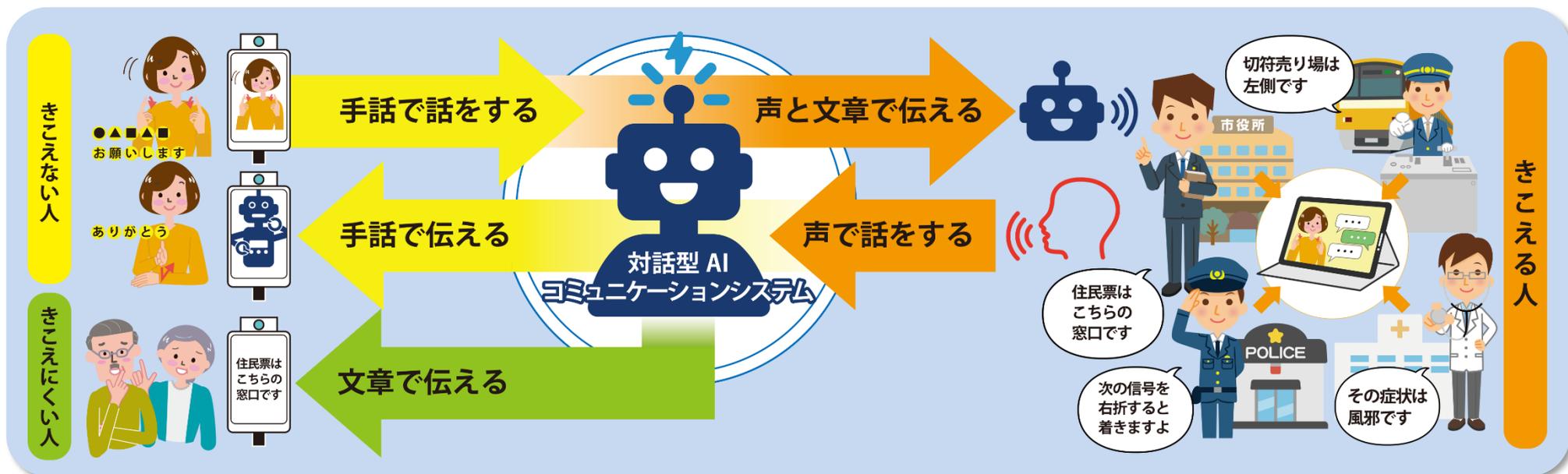


No. 2

きこえない人やきこえにくい人、支援する 人を支える東京発コミュニケーション・ バリアフリー事業（TCB事業）

3.8億円程度
（事業期間3年間）

きこえない人やきこえにくい人が日常生活において、不自由さを意識することなく社会参画し、支援する人の活動も支える東京発コミュニケーション・バリアフリー社会の実現が目標です。対話型AIコミュニケーションシステムの社会実装と普及・促進および持続的な活動に向けた人材の確保と育成に取り組みます。



- (1) きこえない人やきこえにくい人、支援する人を対象に、手話言語および音声言語を扱う対話型AIコミュニケーションシステムの新たな用途を調査します。
- (2) 読唇技術やモバイル技術等を活用した新規端末の開発と試験導入をします。
- (3) 対話型AIコミュニケーションシステムの実用化を推進する人材を育成して、東京発コミュニケーション・バリアフリー事業の持続的な活動基盤を構築します。

事業実施による効果

- 都内の行政窓口や公共交通機関などにおいて、聴覚に障がいがある方への支援サービスの拡充や、受付や手話通訳などの業務環境の改善などが期待されます。